

松 沢 グ リ ー ン プ ロ ジ ェ ク ト

写真で見る 松沢小ビオトープの歩み

松沢小学校ビオトープは2011年10月に誕生しました。

2008年に新校舎が出来た時に確保してもらっていたビオトープ用地を農大生や当時の学校運営委員の皆さんと協力しながら土を掘り起こして池をつくるところから始めました。最初は水たまりがあって植物が少し生えているだけの殺風景な場所でしたが、ビオトープ池が出来てから10年以上が経った今は植物の種類や量も増え、そこに集まる生き物も増えつつあります。

松沢小のビオトープ池にいるカエルやトンボその他にも色々な小さな生き物たちは、どこから連れてきたのではなく、水辺と草木があるこの場所に自分たちで集まってきました。今ではビオトープも世の中で認知されるようになりましたが、当初は「ビオトープって何？」という声がよく聞かれました。



2011.10 みんなでブルーライナーを敷いて池の基礎を作っています。



2011.11 完成、最初は土と水だけのビオトープ池で始めました。

ビオトープ (Biotop) は生物や植物が生活できる生息空間のことで、森林や海・川から小さな鉢まで、そして水辺に限らず生き物がある全ての場所のことを指しています。もともとはドイツで生まれた概念で、「bio (命)」と「topos (場所)」というギリシア語を組み合わせた造語で1900年代の初め頃には使われ始めました



2012.05 手前のピンクの花はナガミヒナゲシ (外来種)
こういった外来種を減らすことで在来の植物域が増えてきます。



2013.01 ビオトープの冬景色

生き物たちを守るために作られるので外から見るだけの場所が多いのですが、松沢小学校ビオトープは児童たちが生き物と直接触れあうための場所として作りましたので、ビオトープくらの時間には生き物たちを観察するだけでなく自分たちで実際に網で捕まえてみることもできます。

また、ビオトープ池のある南デッキには実の成る木が植えられていますので、季節ごとの実りも実際に体験することができます。



2013.09 雑草と呼ばれる植物たちが広がってきています。こういう場所に小さな虫や生き物が集まってきます。



2014.05 雨で溢れる池、メダカたちが流されてしまわないように土嚢を積んでいます。



2015.06 観察がしやすいように池の淵にデッキを付けました。メダカが外に溢れてしまわないよう水路を作り、池の周りも少し高くしました。



2015.09 人工的な風景も緑が覆うと自然に近づきます。



2023.07 自生した植物も含めて多様な植物構成になりつつあります。

★次回：12月17日(日)★

ビオトープ応援団

13:00～

卒業生、保護者、地域の仲間と毎月植栽の手入れなどを行っています。ボランティア募集中！

ビオトープくらぶ

14:00～15:30

児童対象・自由参加・自由解散

ビオトープ応援団参加は
右のQRコードから！



コロナの期間にはお休みをしていた『ビオトープくらぶ』を今年度から再開しています。事前登録や申込は不要、自由参加のくらぶで児童だけでの参加もOKです。ぜひ時間のあるときに四季折々の自然を感じに来てください。『ビオトープくらぶ』は毎月第3日曜日14:00～です。

また、卒業生や保護者、近隣の皆さんと学校の緑のお手入れをするボランティア『ビオトープ応援団』も募集していますので、生き物だけでなく草木が好きな方は是非ご参加ください。『ビオトープ応援団』は毎月第3日曜日13:00～です。

収穫したフェイジョアの実



松沢小学校の先生・職員

今回は、坂口 茅（さかぐち かや）先生をご紹介します。



坂口先生はくすのき学級2年の担任。子供たちに接するときには、子供が何を伝えようとしているかを汲み取るよう心掛けている。弟に勉強を教えているうちに、教えることが楽しくなり教員になった。

中学の時は陸上部に所属して長距離を走っていた。高校の時は部活に入らず、自分で走るトレーニングをしていた。

趣味はマラソン。フルマラソン、ハーフマラソンを合わせて月に1～2回はレースに出場している。全国の競技会に出場するので、その都度その土地の美味しい物を食べたり、温泉に入ったりして旅行も兼ねて楽しんでいる。



学校関連の種々情報は適宜松沢小学校のホームページに掲載していきます。

- ・ 学校日記更新
- ・ 配布物
学校便り
- ・ 学校運営委員会だより
など

松沢小学校のホームページは記事数も増えて益々充実しています。毎日の子供たちの様子が写真付で紹介されています。ぜひ定期的にアクセスしてください。

松沢小学校学校 運営委員会報告

令和5年度第6回会合

令和5年10月13日(金)
於) 松沢小会議室 18:30～20:00
出席者(敬称略)
委員：藤森、吉見、コンドン、本城
宮本、坂爪、古川
学校支援コーディネーター：笹部
事務局：山田、松本、桂

令和5年度第7回会合

令和5年11月10日(金)
於) 松沢小会議室 18:30～20:00
出席者(敬称略)
委員：藤森、吉見、山口、コンドン、
本城、宮本、木家、古川
学校支援コーディネーター：笹部
事務局：松本、桂

うさ松LINEスタンプ 好評販売中！



松沢小の人気者「うさ松」をはじめとしたキャラクターたちが色々な表情を見せてくれる元気なスタンプです。ぜひダウンロードしてご家族やお友達、保護者様どうしてお使いください！

うさ松LINEスタンプの収益は、わくわく体験教室や松沢グリーンプロジェクトなどの運営資金となり、児童・学校へ還元されます。

**うさ松LINEスタンプ
販売ページはこちら**



16種類 50コインで販売中！



携帯電話アクセス用
QRコード

学校運営委員会だより 令和5年度11月（通算第94号）



世田谷区立松沢小学校

松沢小学校ホームページ：<http://school.setagaya.ed.jp/mawa/>

学校運営委員：

藤森裕基：日本大学教授・吉見あや子：地域関係者・木家浩司：地域関係者・山口朋代：地域関係者
ジョー コンドン：松沢小PTA会長・本城夏子：地域関係者・宮本謙吾：松沢小PTA
坂爪道程：松沢小PTA・古川琢磨：下高井戸商店街・寺崎晶子：松沢小学校校長

事務局：

山田隼士：松沢小学校副校長・松本泰治：松沢小学校副校長・桂知琴：主幹教諭

目次

第2回どきどき土曜スクール開催	P1
松沢グリーンプロジェクト	P2P3
学校運営委員会議事	P4

色付いて来たビオトープのゆず

世田谷区立松沢小学校 学校運営委員会 委員長 藤森 裕基

第2回「どきどき土曜スクール2023」を開催しました！

11月18日(土)、1～4年生を対象に本年度2回目のどきどき土曜スクールとして、「秋の写真立てを作ろう」「絵本であそび☆まなぶ(国語)」の2講座を開催いたしました。

秋を感じる素敵な作品ばかり

1～4年生を対象に「秋の写真立て作り」を開催しました。

各々、持ち寄ったどんぐりや松ぼっくりを使用したり、用意された材料から完成形を想像しながら自由に選び自らの『秋』のイメージを作り上げました。どんぐりに顔を描いたり、実と木の枝を結びつけて垂らしたり、それぞれ工夫しながら飾り付け、完成しました。額縁全てを埋めるように飾ったり角に集中させて飾ったり一人一人全く違った作品になり個性が溢れていました。どの写真を入れるか想像しながら作っていたり、お母さんの誕生日プレゼントにするんだと意気込んで作っていたりする児童もいて、参加してくれた一人一人の作る動機が異なっていたところも見ていて面白かったです。最後には立てかけてみて写真を入れた姿を想像し、微調整を加えました。秋を感じられる素敵な作品になったと思います。



絵本作家、続々誕生！

1・2年生を対象に「絵本であそび☆まなぶ(国語)」が開催されました。講師は、絵本専門士のかいほうえいこさん。絵本専門士とは、2012年に(独)国立青少年教育振興機構により設立された資格で、絵本に関する知識や読み聞かせの高い技術などを備えた専門家のことです。読み聞かせサークルで長年活動されている佐藤知子さんとともに、まずは読み聞かせを通じて子供たちを絵本の世界へと誘います。

最初に『だじゃれどうぶつえん』(文 中川ひろたか、絵 高畠純、絵本館)を読んでもらった子供たちは、絵本は絵があるから面白いし、文があるからさらに面白く感じられるということを実感していました。次に、『もこもこ』(作 谷川俊太郎、絵 元永定正、文研出版)の読み聞かせでは、音の響きから湧きあがってきたイメージを自分の身体で表現し、想像することの楽しさを味わっていました。

続いて先生が取り出したのは、『あかいふうせん』(作 イエラ・マリ、ほるぷ出版)という絵本です。この絵本には文字が一つも書かれていません。でも、ページをめくるごとに変化していく絵を見ながら、子供たちは頭に浮かんだ言葉を次々に発表していました。一冊の絵本を介して、自分の気持ちを伝えたり、お友達の気持ちを知ったりする子供たち。絵本にはお互いの心を通わせる力もあるのです。

そしていよいよ、絵本づくりの時間です。一人一人に配られた手のひらサイズの本は、なんと先生が牛乳パックを利用して作ってくれたもの。見開き5ページのまっさらな本に、子供たちは「顔」というテーマで絵と文を書き進みます。いろいろな顔の表情を描き分けたり、顔のパーツに着目したり、クイズ形式の文章を書いたり、思い思いの表現が光っていました。表紙に「さく・え」という言葉と自分の名前を記す子供たちの表情の嬉しそうなこと！絵本が完成したら、最後はみんなの前で自分の書いた絵本の読み聞かせをしました。絵本は一人で読むのも楽しいけれど、いろいろな人と読むとまた違った楽しさがあります。おうちの人にも早く見せたいと、子供たちは世界に一冊だけの絵本を大事そうにしまっておきました。次回の「絵本であそび☆まなぶ」は、12月16日(土)に理科を題材にして開催されますので、ご興味のある方はぜひお申し込み下さい。

